



2009年(平成21年) 2月10日 火曜日

発行所: 十勝毎日新聞社
〒080-8688
帯広市東1条南8丁目
電話(代表) 0155-22-2121

「カムイ」活用、初実験

JAXA 技術機能を評価

大樹で来月16日

【大樹】宇宙航空研究開発機構(JAXA、東京)は3月16日、大樹町で、道産小型

は初めて。同ロケットはNPO法人北海道宇宙科学技術創成センター(HASTIC、札幌)が開発、これまで道内大学からの依頼で実験を重ねてきたが、その実績が認められた。

カムイロケットは火薬を使わず、固体燃料(プラスチックなど)と液体酸化剤を推進剤としたハイブリッドロケット。北大大学院の永田晴紀教授らをメンバーに、HASTIC

ICが安価で安心な小型ロケットの提供を目指して開発に取り組み、2002年から大樹町を中心に実験を展開。公立は「たて未来大学などの依頼を受け、奮闘の放出などを行ってきた。

正式に承認する。「カムイではマッハ0.4の速度を出すことができ、実験に適している。安価なのも大きな魅力」としている。HASTICの伊藤一理事長は「実験に使用してもらえる(今)これまでの歩みが認められたと思う。宇宙開発の実験手段の一つとして、今後も活用してもらえれば」と話している。(北推真)